



まつやま

名城物語

◇◇◇

松山市民の心の拠り所は
勝山に佇む天下の名城

「春や昔十五万石の城下哉」は、正岡子規の故郷への愛情が表現された有名な一句。子規が見上げたであろう松山城は今も変わらずに松山市の中心部にある標高132メートルの勝山に佇んでいます。その堂々とした姿は、市内の各所から望め、市民の心の拠り所ともなっています。

松山城は賤ヶ岳の戦いで七本槍の一人として活躍し、関ヶ原の戦いでも武功を挙げた加藤嘉明が1602（慶長7）年から築城に着手。翌年には嘉

明がこの地を「松山」と呼ぶことを決め、公式な地名となりました。しかし、築城には26年の歳月が費やされたため、嘉明は転封により完成を見ることなく松山を去りました。その後、蒲生忠知の治世を経て、以降は15代にわたり松平氏がこの地を治めました。

藩政時代からの歴史を
伝える貴重な建造物の数々

日本有数の連立式天守を擁する松山城は、「現存12天守」の一つに数えられる名城。「日本100名城」や「美しい日本の歴史的風土100選」にも選ばれています。また、1854（安政元）年に再建落成した現在の天守など21の建造物が国の重要文化財に指定されています。門や櫓、塀など多くの見所があり、さらにはさまざまな技法を駆使した石垣の美しさにも定評があります。藩主の住まいがあった二之丸は、史跡庭園として整備され、花木で当時の間取りなどが再現されています。

天守へと至る登城道は4ルート整備されており、東雲口から八合目の長者ヶ平まではロープウェイとリフトを敷設。快適にアクセスできます。



Built over the course of 26 years starting in 1602, Matsuyama Castle stands as the symbol of Matsuyama. One of only 12 castles featuring castle keeps to be built in Japan during the Edo period, highlights of the site include its architecture and luxuriant natural surroundings.

1. 松山城

勝山にある天守内は観覧可能。本丸広場は桜の名所として知られている。

■住／松山市丸之内1 ■問／089-921-4873（松山城総合事務所） ■営／9:00～17:00（時期により異なる。入場は閉門時間の30分前まで） ■料金／大人520円、小人160円 ■休／12月第3水曜

2. 松山城本丸広場

4月上旬には、松山春まつり（お城まつり）が開催される。

3. 松山城天守内

天守内では甲冑試着体験などの貴重な体験も可能。

4. 松山城とその周辺

ARアプリ「攻略松山城」を使えば、松山城をより深く楽しみ、学びながら体感できる。

5. 松山城 天守からの眺望

夏のイベント時や夜の観月祭に、期間限定で夜間営業している天守からの夜景は絶景。

6. 松山城山ロープウェイ・リフト

山麓から八合目の長者ヶ平までひとつ飛びのロープウェイとリフトを使えば空中散歩が楽しめる。

■住／松山市大街道三丁目2-46 ■問／089-921-4873（松山城総合事務所） ■営／ロープウェイ8:30～17:30（時期により異なる） 無休 リフト8:30～17:00（雨天時運休） ■料金／大人往復520円、小人往復260円

7. 松山城二之丸史跡庭園

藩主の住まい跡を庭園として整備。かんきつや四季折々の草花、流水などを配置して、かつての間取りを表現している。恋人の聖地にも認定され、特に紅葉の時期には多くの結婚式の撮り写真撮影が行われる。

■住／松山市丸之内5 ■問／089-921-2000（二之丸・堀之内管理事務所） ■営／9:00～17:00（時期により異なる。入園は閉園時間の30分前まで） ■料金／大人200円、小人100円 ■休／12月第3水曜

